

# 秋 剣 連

発行  
 秋田県剣道連盟  
 TEL010-0914  
 秋田市保戸野千代田町14-12  
 SAKAEビル 2F-B  
 TEL 018-883-0680  
 FAX 018-883-0663  
 E-mail ar-kendo@abelia.ocn.ne.jp  
 http://www18.ocn.ne.jp/~axtkendo/



&lt;第6回東北地区内山杯争奪少年剣道錬成大会より&gt;

## 我慢と惻隱の情



秋田県剣道連盟理事長

小松誠

さて、今回の震災では甚大な被害を蒙りましたが、被災地の人々の行動に日本文化の原点が表れた気が致します。一つは、今回の震災で多くの外国メディアが、日本人の「我慢」について報道していました。(諸外国では「我慢」という言葉の直訳がなく「Gaman」として報道されていた。) あのような状況下で、暴動や略奪もなく、整然と行動する日本人を不思議に思い、日本人の美德と日本文化を称賛していました。

もう一つは、(サピオ・藤原正彦氏より) 今回の震災では、助ける側も助けられる側も、双方が日本人の美德である献身や惻隱の精神というものを見せてくれた。被災地の人は、不平不満を言う前に、自衛隊やボランティアに感謝の言葉を伝え、炊き出しにはきちんと列を作り、暴動や略奪に走ることもなかった。そんな被災者の行動に負けなかつたのが自衛隊の献身ぶりであった。天幕を張り野営し、入浴も我慢し、被災者におにぎり、豚汁など温い物を提供し、自分達はレトルトで済ましていた。改めて日本人の中に弱者への気遣いと思いやりのDNAがあつた事を教えてくれた。それこそがまさに「惻隱の情」であり「武士道精神」の中核をなすものである。

ご存知の通り、剣道と武士道精神(惻隱の情)は、日本文化として深い繋がりがあります。我々は、ただ単に勝ち負けだけの剣道ではなく、躾教育としての剣道(剣道は下駄を揃えて返事よくお辞儀が出来て我慢すること)、日本の伝統文化としての剣道(打って反省打たれて感謝)を大いに奨励し、永く後世に伝えるべく使命を担っているものと想います。

## 新八段誕生



教士八段  
湯澤 寛

五月の京都審査会で合格率〇・八%の難関を見事突破し、合格された湯澤先生よりご寄稿いただきました。

### 「新たなる修行の始まり」

は早過ぎた」・「打ち切りが足りない」などの反省が湧き上がってきた。私は自分に厳しく評価をするのはいつものことなので、審査の結果も自分の評価相応であろうと思いながらも僅かながらの期待はしていた。その心境で「二次審査合格」を見たときにはさすがに身震いするのを感じた。合格できた驚きと喜びの中「剣道形審査」に臨んだことは記憶から離れることはない。

現在、私は高校教員として毎日の剣道部の部活動指導が剣道の取り組みの中心となっている。四十歳までは自分の稽古時間を作り、全日本選手権はじめ試合に出場することで自分の技術を高めていくことを考えていました。平成十九年「秋田わか杉国体」の三年前に少年男子監督に決定して以来、自分が試合に出ることをせずに選手強化に専念をした。朝夕の稽古で「切り返し」から元に立ち、ひたすら打たせ役に徹した。今までの選手・指導者の両方の感覚から自分自身が一変したように思えた。

三・四年と元立ち稽古をするにつれて、打突の好機、「打たせる機会」をつくるということは、自分が「打つ機会」をつくるということと同じであることがわかつてきた。自分が攻めて打つ機会に打たせるのである。いまでも「元立ちをすることが稽古」であることが頭の中では理解できている。尚一層のご鞭撻を賜り上げるとともに私自身の新たなる精進が始まることを感じている。

●所在地  
湯上市天王字宮の後  
天王中学校敷地内  
潟上市天王剣道場

●師範または代表者  
桧山幹雄

過去一度の審査では一番はじめの組での立ち会いであったので、今回は朝早くから会場に入り、同世代の剣友と調整して審査の準備をした。長年にわたり、高校生部員と朝稽古をしているおかげで、朝から身体を思うように動かすことは難なくできるようになっていた。あとは気力を高めて立ち合いに集中するだけであった。「一次審査」「二次審査」ともに一心不乱で立ち合った。審査内容がどうであったか、終わった瞬間には善し悪しは思いつかないもので、時間が経つにつれ「あの時の打ち出し

掴んでいくものだと実感した。選手を強くするつもりが選手から学ばせてもらい、向上しているのである。

これが剣道の修行であり、「師弟同行」であると感じている。「秋田わか杉国体」監督をさせていただきその後にわたる期間に鍛えてもらつたことが今私の剣道に生きている。秋田県剣道連盟はじめ支えていただいた多くの方々に感謝している。

### 一足一刀の間合いから「打ち間」

までの争いが、お互いに一番苦しいところであり、緊張感がある。剣道の醍醐味の部分である。ここをしっかりと捉えた剣道を心掛けていたい。

私は先生方や生徒の皆さんに稽古をお願いして「打ち間」に詰めていく技術と相手の「気」を読むところの大切さを教えていただいている。

打つことだけでなく、良い機会を打たれることも稽古であり、自分を次の段階へ導いてくれることであると考えている。



天王剣道スポーツ少年団

## シリーズ道場紹介 第二回

### 天王剣道スポーツ少年団

昭和四十四年、山代悦夫先生、成田忠先生、目黒久一先生の御尽力によって、天王剣道連盟主催の私の昇段の会を盛大に開催していただき、皆様方からのお祝いのお言葉や温かい心遣いに感謝申し上げるとともに私自身の新たなる精進が始まるのを感じている。

これからが厳しい修行であることを見悟し、今後は日々の修練を怠ることなく、鋭意邁進して行きたいと思っている。尚一層のご鞭撻を賜り

ますよう心よりお願い申し上げます。

現在は桧山幹雄先生を中心に、当

スポーツ少年団の卒団生であるコートも在籍。

一人でも多くの剣道人を育てるべく幼少年の剣道の育成に力をそいでいる。

#### ●稽古日と時間

毎週 火・木・金曜日

午後六時〇〇分～七時三〇分

#### ●稽古内容・指導要點

基本を大切に、今だけでなく将来に繋がる剣道が身に着くように指導している。

#### ●本道場の特色

同じ剣道場内で中学生の稽古も行われていること、火鍊と呼ばれる一般の方々が稽古に来る日が設けられている事などスポーツ少年団者だけでなく沢山の剣道経験者と稽古できる環境が整っている。

毎年一月には一年間の我が子の剣道の稽古の成果を実感できるようとに親も防具を着けての親子対決が行われるなどのレクリエーション活動も盛んである。

#### ●最近三カ年の主な試合戦績

指導者数 五名

門弟数 二十二名

第五十七回秋田県少年剣道大会

低学年の部 準優勝

第六回内山杯争奪少年剣道錬成大会

高学年の部 第三位

第二十六回秋田県少年剣道錬成大会

会 低学年の部 第三位

西馬音内 剣道連盟

#### ●和賀正由

##### ●所在地

秋田県雄勝郡羽後町西馬音内字

祭ノ神十九（西馬音内小学校内）

電話 ○一八三一六二一一七六八

#### ●本道場の歴史

昭和四十四年（一九六九年）西

馬音内小学校創立百周年を期に、  
当時の剣道部からスポーツ少年団として発足する。

西馬音内は、放・範士九段菅原

恵三郎先生の生誕の地である。

菅原先生は、剣聖高野佐三郎先生に師事し戦前戦後動乱の時代に数々の輝かしい戦績を挙げ、昭和

の剣道界の重鎮として、常に先導的にご活躍された。先生の教えは、廣く全国へ届いている。

#### ●本道場の特色

##### ●門弟数（会員）

二十一名

第五十五回秋田県少年剣道大会

会 低学年の部 第三位

高学年の部 第三位

第二十六回秋田県少年剣道錬成大会

会 低学年の部 第三位



西馬音内剣道スポーツ少年団

#### ■西馬音内剣道スポーツ少年団

先生は、最後の職務である北海道警察剣道名誉師範の折にあっても、故郷秋田の少年剣士の育成にご尽力なさり、当地では昭和四十九年より二十年間続いた「菅原杯争奪県南小中学校剣道大会」は、

先生の功績を称え、県南の少年剣士の士気を上げた。また剣道競技のみならず、先生の人間味あふれる講話を聞くために、多くの剣道指導者と菅原ファンが集まつた。

菅原先生から西馬音内の少年剣士へ、「忍断」（己の邪念を断ち切ることの由来）という教えを贈られている。この教えは、西馬音内の子供たちには自らの不安や恐れと立ち向かう意志であると、今日まで剣道部の理念として継承されている。

昭和四十四年（一九六九年）西馬音内小学校創立百周年を期に、当時の剣道部からスポーツ少年団として発足する。

西馬音内は、放・範士九段菅原

恵三郎先生の生誕の地である。

菅原先生は、剣聖高野佐三郎先生に師事し戦前戦後動乱の時代に数々の輝かしい戦績を挙げ、昭和

の剣道界の重鎮として、常に先導

的にご活躍された。先生の教えは、廣く全国へ届いている。

非常に大切である。立会い相手があつて練習できること、サポートしてくれる親を敬うこと、「礼」を重んじ、生徒と指導者共に日々勉強である。

剣道修練によつて「何事もあきらめない気持ち」を養うことで、学校生活がより楽しくなるよう心掛けている。勝利至上主義であつてはならないが、試合に挑む心構え、体調管理など、プロセス（準備）を大事にしている。

毎年三月に行う「六年生を送る送別剣道大会」では、スポーツで過ごした親子の「親子剣道対決」の名勝負が繰り広げられている。

指導者数 三名（スポーツ少年団登録指導者）

#### ●門弟数（会員）

二十二名（小学三年～小学六年）

#### ●最近三カ年の主な試合戦績

平成二十一年

第55回秋田県少年剣道大会

第三位

平成二十二年

第51回全国選抜少年剣道錬成大会

（水戸大会）出場

平成二十三年

第8回イーハトーブ花巻剣道大会出場

第26回秋田県少年剣道錬成大会

ベスト8

#### ●会費

二万円（年）大会参加費、親の会

運営費として。

本道場の礼節は、少年期にとって

## 飯島少年剣道クラブ・飯島北斗道場



飯島少年剣道クラブ・飯島北斗道場

柔軟な指導のもと、創立六年目には全日本少年剣道錬成大会で全日本制覇を果たす。

現在は体育館も整備されるとともに、卒業後は秋田北中学校や飯島中学校等に進学し、これまでに三〇〇人近くの少年剣士が全国各地に巣立っている。(文責 菅原勇二)

●稽古日と時間

月・木曜日 午後四時三〇分～六時三〇分  
土曜日 午後二時～四時

### ●稽古内容・指導要點

剣道の基礎ということを念頭に、中学や高校、社会人となつても正しい剣の道を続けられるよう、基本を中心とした稽古・指導

### ●本道場の特色

創部当初から石川先生と澤田石川先生が子供たちに願っていたのが「やる気」剣道を通して、何事にも「やる気」を持つこと。勉強も遊びも剣道も「やる気」それが出づれば、少しずつでも良い方向に向かうと思います。

そして「正しい剣道」を子供たちに教えようと心掛けている。

「では生きるとは何だろう?正しいって何だろう?ということを生きるために役立つものであつてほしい。

「なぜ子供たちが探すことではないか。それを我々指導者は剣道をはじめて探させようとしています。

石川昭典先生(故人)の厳しく激しいご指導、澤田石有一先生の

○悪いことをしたりふざけたりするとなまけると負けます。

●指導者・代表者 居合道錬士六段・杖道錬士六段・剣道三段

●所在地 秋田県由利本荘市前郷

由利本荘市立「由利武道館」

●連絡先(電話) ○一八四一五三一三五四一(木内)

●門弟数 一人 三〇〇〇円

●本会の歴史(由利居合道協会) 本協会は、昭和五十七年九月二十日に「居合道始祖・林崎甚助重信翁の精神に則り生涯鍛磨と心身を鍛鍊し、もつて有意な社会人としての完成を期し、合わせて日本古来の武道の遺産を同志と共に後世に継承するため、発展・普及に努力する。」の趣旨もつて設立した。

●会員費 今日、正会員の数は三十五名、

小学生 十三名 一般会員 四名  
最近三ヶ年の主な試合成績 全日本少年剣道錬成大会

(日本武道館)  
全国選抜少年剣道錬成大会

(水戸大会) 出場

●会員費 一人 三〇〇〇円

小中学生の準会員十五名を数える。  
また、本会は本荘・由利地区唯一の居合道・杖道団体であることから他地域、他市の方も会員となつてゐる。さらに本会は発足当初から居合道範士八段故浅利成和先生(鹿角市)・居合道錬士六段故田口正先生(由利本荘市)の指導を得ることができたことが、本会の発展につながつた。有段者も多くまた、各種の大会で多くの選手が好成績をあげるなど県下でも注目されている団体である。

●稽古内容・指導要点 火・土曜日 午後七時～午後九時

●稽古日と時間

●所在地、電話番号 秋田県秋田市飯島鼠田二丁目二一一〇一八一八四五一〇三七七

### ●本道場の歴史

昭和四十五年、飯島小学校柔剣道同好会として発足。その後、剣道部が独立分離、現在の飯島少年剣道クラブに至る。昨年、創立四十周年をむかえた。

創立当初からの七年間は旧体育馆(天井は低く、薄暗く、床板はでこぼこでざらざら。強く踏み込むと穴が開き、その度に父兄が修復を繰り返すような道場)で稽古が行われていた。

石川昭典先生(故人)の厳しく激しいご指導、澤田石有一先生の

柔軟な指導のもと、創立六年目には全日本少年剣道錬成大会で全日本制覇を果たす。

現在は体育館も整備されるとともに、卒業後は秋田北中学校や飯島中学校等に進学し、これまでに三〇〇人近くの少年剣士が全国各地に巣立っている。(文責 菅原勇二)

●稽古日と時間

月・木曜日 午後四時三〇分～六時三〇分  
土曜日 午後二時～四時

### ●稽古内容・指導要點

剣道の基礎ということを念頭に、中学や高校、社会人となつても正しい剣の道を続けられるよう、基本を中心とした稽古・指導

### ●本道場の特色

創部当初から石川先生と澤田石川先生が子供たちに願っていたのが「やる気」剣道を通して、何事にも「やる気」を持つこと。勉強も遊びも剣道も「やる気」それが出づれば、少しずつでも良い方向に向かうと思います。

そして「正しい剣道」を子供たちに教えようと心掛けている。

「では生きるとは何だろう?正しいって何だろう?ということを生きるために役立つものであつてほしい。

「なぜ子供たちが探すことではないか。それを我々指導者は剣道をはじめて探させようとしています。

石川昭典先生(故人)の厳しく



由利武道館

### ●由利武道館(居合道・杖道稽古)

(由利居合道協会主催)

●稽古内容・指導要点 火・土曜日 午後七時～午後九時

●稽古日と時間

●指導者・代表者 居合道錬士六段・杖道錬士六段・剣道三段

●所在地 秋田県由利本荘市前郷

由利本荘市立「由利武道館」

●連絡先(電話) ○一八四一五三一三五四一(木内)

●門弟数 一人 三〇〇〇円

●本会の歴史(由利居合道協会) 本協会は、昭和五十七年九月二十日に「居合道始祖・林崎甚助重信翁の精神に則り生涯鍛磨と心身を鍛鍊し、もつて有意な社会人としての完成を期し、合わせて日本古来の武道の遺産を同志と共に後世に継承するため、発展・普及に努力する。」の趣旨もつて設立した。

●会員費 今日、正会員の数は三十五名、

小中学生の準会員十五名を数える。  
また、本会は本荘・由利地区唯一の居合道・杖道団体であることから他地域、他市の方も会員となつてゐる。さらに本会は発足当初から居合道範士八段故浅利成和先生(鹿角市)・居合道錬士六段故田口正先生(由利本荘市)の指導を得ることができたことが、本会の発展につながつた。有段者も多くまた、各種の大会で多くの選手が好成績をあげるなど県下でも注目されている団体である。



- 会員  
（他に小中学生の準会員 十五名）
- 最近の主な試合戦績  
毎年、県外の大会出場や県大会に於いて好成績をあげている。
- 今年度の県居合道段別選手権大会の成績を上げてみると、初段優勝、三段準優勝、四段第三位、六段準優勝などである。
- 優勝などである。
- 会費  
一〇〇〇円（年会費）

会員は、剣道有段者も多く、有利剣道協会と連携しながら、本会の趣旨をもつて本二道（居合道・杖道）を学んでいる。さらに、市剣道協会が主催する各種剣道大会等において、演武を行うなど、その普及と振興・会員の募集に努めている。

- 指導者数  
鍊士六段 一名、五段 三名、四段 一名
- 門弟数  
三十五名



## 平成24・25年度 秋田県剣道公認審判講習・認定会

平成二十四年・二十五年度の二年間、県内で開催される各種剣道試合における審判員としての資格を秋田県剣道連盟が公認する講習会・認定会が開催されています。すでに県南地区（九月十一日増田体育館にて開催）と県北地区（十月十日鷹巣体育館にて開催）は終了、残るは中央（十二月十日・土曜、県立武道館開催予定）のみです。

### 終了二会場の公認審判認定合格者

○ 県南（増田）会場	認定者数
一種（三十人）、二種（三十三人）	
三種（九十二人・内三段十三人）	
合計	一五五人
○ 県北（鷹巣）会場	認定者数
一種（十八人）、二種（二十四人）	
三種（五十八人・内三段五人）	
合計	一〇〇人

### ※講習会・認定会の主な内容

◇ 試合・計時・審判実技。 ①所作と宣告②位置取り③有効打突判定の三観点から審技認定	田県立武道館で「東日本大震災復興支援」！とどけようスポーツの力を東北へ！の合い言葉のもと、低学年二十五チーム、高学年七十五チームが参加し、第五十七回秋田県少年剣道大会が開催されました。また、試合に先立ち小学生及び幼少年に剣道指導を通じて、広く地域の発展や幼少年の健全育成に貢献している指導者七名が「幼少年指導奨励賞」の表彰を受けました。
◇ 剣道試合・審判規則・細則と、剣道試合・審判運営要領に沿って、審判の目的、審判員の任務、審判員の心得について。	田県立武道館で「東日本大震災復興支援」！とどけようスポーツの力を東北へ！の合い言葉のもと、低学年二十五チーム、高学年七十五チームが参加し、第五十七回秋田県少年剣道大会が開催されました。また、試合に先立ち小学生及び幼少年に剣道指導を通じて、広く地域の発展や幼少年の健全育成に貢献している指導者七名が「幼少年指導奨励賞」の表彰を受けました。
◇ 審判の基本的な留意点①有効打突②残心の見極め③反則の見極め④審判員の位置取りと対応、⑤旗の表示要領等について。	田県立武道館で「東日本大震災復興支援」！とどけようスポーツの力を東北へ！の合い言葉のもと、低学年二十五チーム、高学年七十五チームが参加し、第五十七回秋田県少年剣道大会が開催されました。また、試合に先立ち小学生及び幼少年に剣道指導を通じて、広く地域の発展や幼少年の健全育成に貢献している指導者七名が「幼少年指導奨励賞」の表彰を受けました。
（認定会）	田県立武道館で「東日本大震災復興支援」！とどけようスポーツの力を東北へ！の合い言葉のもと、低学年二十五チーム、高学年七十五チームが参加し、第五十七回秋田県少年剣道大会が開催されました。また、試合に先立ち小学生及び幼少年に剣道指導を通じて、広く地域の発展や幼少年の健全育成に貢献している指導者七名が「幼少年指導奨励賞」の表彰を受けました。

### 【高学年の部】

優勝 港剣志館A  
準優勝 協和剣道場A  
第3位 勝平剣道スポ少A  
修武館A

〈優秀賞〉  
○羽生 遙（勝平剣道スポ少）  
○三浦 悠人（神武館三吉道場）  
○進藤 裕太（日新小剣道スポ少）  
○今野 拓真（協和剣道場）  
○小野 直哉（修武館）  
○沼田 翔奈（雄信館内山道場）  
○石井 大夢（港剣志会）  
○田村 陸人（奥檜館）

### 【低学年の部】

優勝 勝平剣道スポ少  
準優勝 天王剣道スポ少  
第3位 泉剣道スポ少  
昭和西部

〈優秀賞〉  
○伊藤 寿馬（八郎潟スポ少）  
○伊藤 谷奈（天王剣道スポ少）  
○松井 迅（泉剣道スポ少）  
○大山 直也（奥檜館）  
○伊藤 快（昭和西部）  
○植岡 大輝（八橋剣道スポ少）  
○東海林真之介（勝平剣道スポ少）

## 第57回秋田県少年剣道大会

平成二十三年九月四日（日）に秋田県立武道館で「東日本大震災復興支援」！とどけようスポーツの力を東北へ！の合い言葉のもと、低学年二十五チーム、高学年七十五チームが参加し、第五十七回秋田県少年剣道大会が開催されました。また、試合に先立ち小学生及び幼少年に剣道指導を通じて、広く地域の発展や幼少年の健全育成に貢献している指導者七名が「幼少年指導奨励賞」の表彰を受けました。

# 地区剣連主催・共催 剣道大会

郡・市剣連の主催・共催の大會として、その地域・地区に於いて永い歴史を持ち、数多くの少年剣士を育ててきた剣道大会を紹介するコーナーを新設しました。

一般の剣道大会については、ユニークな内容の試合を展開し、剣道人口の増加に寄与している地域の大会を紹介しました。

## 春季鹿角剣道大会

### 一、開催期日・会場・主催

● 平成二十三年四月十一日（日）

● 鹿角市花輪スキー場アルパス

● 鹿角剣道連盟

所々に残雪が見られる花輪スキー

場を背に、総合運動施設アルパス

鹿角市花輪スキー場アルパス

この大会は、春以降の大会シ

ズンの皮切に、冬の間に寒稽古で

蓄えた力を発揮する場として、今

年男女別に個人戦のトーナメント

で覇を競う。小学校低学年の試合

では、打てども打てども相打ちで、

なかなか勝敗が決しない試合が多

く、審判員もやや困惑気味。防具を着けていないところをしたたかに打たれて泣き出す者なども見られた。が、久しぶりの大会とあって、選手たちは元気一杯、気合い十分で、大きなかけ声と竹刀がぶつかり合う音が広い館内に響き渡っていた。

出場選手数は小学生が三十二人、中学生が二十人、高校生が十人だつた。

なお、大会の開会式後に公開演武が行われ、夢想神伝流（初伝大森流）の居合が披露された。その演武者の一人である畠山文吾新六段に対し、鹿角剣道連盟会長より昇段祝いの記念品が贈られた。

### 各学年の優勝者

#### 小一男子の部

関 嘉（尾去沢スポ少）

#### 小二男子の部

児玉 優翔（十和田スポ少）

#### 小三男子の部

佐藤 昇（尾去沢スポ少）

#### 小三女子の部

山本 彩愛（尾去沢スポ少）

#### 小四男子の部

田口 雄登（八幡平スポ少）

#### 小四女子の部

赤坂 琴音（尾去沢スポ少）

#### 小五男子の部

齊藤 真哉（八幡平スポ少）

#### 小五女子の部

栗山 七星（八幡平スポ少）

小六男子の部

田口 史竜（八幡平スポ少）

中一男子の部	佐藤 千和田中
中一女子の部	坂井 蓮実（尾去沢中）
中二男子の部	松宮 尚吾（十和田中）
中三男子の部	加賀涼太郎（十和田中）
中三女子の部	小林慎之介（大館高）
高校男子の部	阿部 彩女（花輪一中）
高校女子の部	阿部 和佳（十和田高）

中一男子の部	佐藤 千和田中
中一女子の部	坂井 蓮実（尾去沢中）
中二男子の部	松宮 尚吾（十和田中）
中三男子の部	加賀涼太郎（十和田中）
中三女子の部	小林慎之介（大館高）
高校男子の部	阿部 彩女（花輪一中）
高校女子の部	阿部 和佳（十和田高）

## 第26回 飛鷺旗争奪少年剣道大会



## 第26回 飛鷺旗争奪少年剣道大会

### 一、大会の趣旨

昭和町剣友会（現在昭和剣友会）

に、男鹿市南秋田郡剣道連盟から、若鷺の優勝旗を寄贈頂き、故畠澤 實範士七段より『飛鷺旗』と命名

して頂きました。その際、今後未

永く大会を昭和町（現潟上市昭和）

で開催するよう要請を受け、昭和

町剣友会が郡市の各地域の方々の協力を得て開催にいたりました。

その趣旨は、「剣道を通じて広く各

地域の子供達の健全育成並びに交

流を深める大会にする。特にこれ

からのスポーツ少年団活動に地域

奉仕活動の一翼も担えるようにす

るとし、羽州街道沿いの少年・少女の参加を求める」ということで、

その後、鎧喜裕先生から羽ばたく



若鷲のトロフィーを激励のため頂きました。

## 二、主催・主管・後援

●主催 潟上市剣道連盟  
●主管 昭和剣友会、飯田川剣友会  
●後援

潟上市・潟上市教育委員会、潟上

市スポーツ少年団、潟上市体育協会、男鹿市・潟上市・南秋田郡剣道連盟、青少年育成潟上市民会議、

秋田魁新報社、湖畔時報社、昭和剣道スポーツ少年団父母の会、羽城中学校剣道部父母の会

●会場 潟上市昭和体育馆

## 三、会場・開催月日

●開催月日 每年四月の第三日曜日

## 四、大会の歴史

第一回大会を昭和六十一年に開催して以来今年で、第二十六回を数える。

## 五、参加対象・今年の大会の区分別

### ●個人戦女子の部（学年問わず） 参加者数

六十二名

●四年生以下の部 七十一名

●五・六年生の部 六十六名

●団体戦（学年問わず）四十六チーム

## 六、大会の内容

現在の大会は個人戦・団体戦が別々に行われますが、本大会は、少しでも試合をする機会を多くするため、大会日程を個人戦は午前中に、昼食休憩後、午後に団体戦を行います。さらに決勝戦のため、新たにコートを作成し、堂々とした試合を全観衆の前で披露し

てもらっています。

## 七、特徴的な事項及び今後の課題

第一回当初は、大会看板・プロ

グラム等は手作りでしたが、現在大部分はコンピュータ化されています。でも、子供たち・父母の方々

を昭和で精一杯の試合をして頂くための心意気は、全く変わっていません。そのため、いろいろイベント等を行つており、特に第二十

回記念大会では国際交流としてフィンランドからカリさんとヨハンナ

さんをお迎えして合同稽古・シンポジウムを行い、視野の拡大に努めました。ただ、根底にあるのは、

選手の元気、指導者の熱意が第一です。今後も、この大会が皆様に愛されるように、大会内容の改善・

鍊成会の実施等を検討して参ります。

平成二十三年第26回大会成績

### ■団体戦

優勝 || 角間川

準優勝 || 港剣志館A

### 三位

飯田川A、勝平A

### 個人戦

#### ・女子の部

優勝 || 羽生（勝平）

準優勝 || 渡辺（追分）

三位 || 黒沢（田沢）

優勝 || 淡路（勝平）

準優勝 || 三浦（広面）

三位 || 安田（天王）

・低学年の部

#### ・高学年の部

優勝 || 後藤（角間川）

準優勝 || 石井（港剣志館）

三位 || 伊藤（飯田川）

・優勝 || 藤井（角間川）

・准優勝 || 三浦（広面）

・三位 || 伊藤（飯田川）



第6回 東北地区選抜内山杯争奪少年剣道錬成大会



# 一、大会主旨

剣道範士、故内山眞先生は、昭和五十年に秋田市内に道場を開設以来、幼少年剣道の指導普及に力を注ぎ、平成元年から平成十年まで秋田県剣道道場連盟の会長として本県道場連盟の創設発展に尽力されたその功績を永く讃える為に、県内はもとより東北地区さらには関東以北の優秀な道場の参加を得、剣道の振興を通じ剣道の正しい普及と青少年の健全なる育成、心身の鍛磨、相互の親睦を図ることを目的としている。

## 二、主催

秋田県剣道道場連盟

後援

(財)全日本剣道道場連盟

秋田県剣道連盟・秋田市剣道連盟

秋田県・秋田市・秋田県教育委員会

秋田市教育委員会・秋田魁新報社

## 三、会場・開催期日

●秋田県立武道館  
平成二十三年八月二十日(土)、二十一日(日)

## 四、大会の歴史

平成十八年八月に第一回大会を開催

## 五、今大会参加者数

小学生低学年団体  
小学生高学年団体  
中学生団体  
小学生低学年二年生以下個人  
小学生低学年三年生以下個人  
小学生高学年個人

五十二チーム  
六十二チーム  
四十四チーム  
六十三名

七十五名

小学生高学年個人

三十名

中学生女子個人  
中学生男子個人

八十七名  
一六五名

"溝越彩人(山形・養勇館)  
(小学生低学年三年以上四年以上)

優勝小野洋介(秋田・修武館)

優勝外川風雅(青森・尚道館)

三位伊藤涼奈(秋田・天王館)

"三浦悠久(秋田・神武館)

(小学生高学年)

優勝原慧士郎(福島・恵迪館)

二位前川原隆(青森・月影塾)

三位石井大夢(秋田・港劍志館)

"小野直哉(秋田・修武館)

優勝深井清香(栃木・練武館)

二位菅原福子(秋田・角間川)

三位菅野夏代(宮城・吉成剣友会)

"荒井雅代(秋田・有武渡部)

(中学生女子)

優勝立田勇治(青森・尚道館)

二位高橋寛生(秋田・城南立志)

三位塚尾凌河(青森・柏葉少年)

"高野将志(福島・恵迪館)

(中学生男子)

優勝角間川道場(秋田)

二位青森紘武館(青森)

三位柏葉少年剣道隊(青森)

(中学生)

優勝角間川道場(秋田)

二位青森紘武館(青森)

三位柏葉少年剣道隊(青森)

(小学生)

優勝角間川道場(秋田)

二位青森紘武館(青森)

三位柏葉少年剣道隊(青森)

(小学生)

優勝角間川道場(秋田)

二位青森紘武館(青森)

三位柏葉少年剣道隊(青森)

(小学生)

優勝角間川道場(秋田)

二位青森紘武館(青森)

三位柏葉少年剣道隊(青森)

(小学生)

優勝角間川道場(秋田)

二位青森紘武館(青森)

三位柏葉少年剣道隊(青森)



大会後の稽古会 参加者

大曲仙北地区一般剣道大会  
(大曲仙北剣道連盟主催)

開催にあたっては、毎年八月の第

一土曜日としており、開催会場は各

地区的ローテーションとしている。

今年度は、角間川地区が主管とな

り男女混合で合計八チーム、三十人

県外から全国的にも有名な道場が参加をしてくれ、レベルは年々向上している。特に今回は三月の大震災で被災された地域からも出場をしてくれて、少しでも勇気づけることができたのではないかと思う。

また、県外選手と竹刀を交えることの出来る機会を大いに活用し、レベルアップを図るためにも県内中学の参加を大いに願うものである。

「大曲仙北地区一般剣道大会」は、平成八年度より毎年開催され、今年度で十五回目になる。

大曲仙北は、大曲・角間川・仙北・生保内・協和・刈和野・美郷・角館などの多くの地域に広がるため、一般的の剣道愛好者が一同に会する機会を設けることを大きな目的としている。同時に、過去に剣道を経験したが現在は遠ざかっている剣道経験者に、再度剣道にふれる機会づくりをして老若両年齢層の拡大に貢献している。

開催にあたっては、毎年八月の第一土曜日としており、開催会場は各地のローテーションとしている。

今年度は、角間川地区が主管となり男女混合で合計八チーム、三十人

余りの選手が参加した。また、試合後には本剣道連盟会員での合同稽古会を開催し、懇親会も開かれた。

試合においては、勝負にこだわらず試合を楽しむ雰囲気である。「剣道から離れていていきなり稽古はちょっと」と考へてゐる人も、ここで試合となると稽古とは事なるレクレーーション的な面を楽しむこともできたという声が聞かれた。このようなことから本大会を「剣道祭り」と呼んでいる。

大曲仙北剣道連盟としても、剣道人口の拡大のために今後も大切な事業の一つとして取り組んでいきたいと考えている。

九月四日、山形県上山市文化センターに於いて開催され、各段に秋田県代表として七選手が出席。

四段の部	岡 本 谷	淳・栗澤 秀明
五段の部	岡 本 谷	淳・栗澤 秀明
六段の部	伊 藤 石 田	祝 男・木 内 恵 一
七段の部	伊 藤 石 田	純 士
入賞	栗澤 秀明	栗澤 純士
四段の部	第二位	石田 純士
七段の部	第三位	栗澤 秀明

### 第41回東北居合道大会

全国高等学校定通剣道大会  
女子団体・個人共に優勝!!

監督 加藤 由佳



団体戦は先生方が他校との練習試合を組んでくださり団体戦メンバーと試合に向けて意思を高め合う事ができました。優勝することができとても嬉しかったです。先生方や剣道部のみんなと応援してくださった方にこの場を借りて感謝申し上げます。

八月八日に行われました全国高等学校定時制通信制体育大会において女子団体優勝、女子個人優勝・三位・ベストエイトという結果を残すことができました。これも、日頃からご指導いただいている先生方をはじめ、多くの方々のご声援やご尽力があつたからだと生徒共々、実感し感謝しております。

今年は例年になくらいの稽古を

し、横手城南高校、横手清陵学院高校の協力をいただき練習試合までさせていただきました。大会では一日に十試合以上こなす選手もいた中で、最後まで気持ちを切ることなく気力を振り絞つて戦つてくれました。おそらく、日頃の練習の成果以上の力を選手それぞれが出すことができました

いたと思います。  
今大会の経験をこれから稽古や実生活に生かし、来年もこの結果につでも近づけるよう、そして秋田県の名が再び全国大会の表彰式で呼ばれることを目標に気持ちを新たに頑張つて行きたいと思います。

個人戦は去年三位という結果を得ることができましたが今年はバイトを始めたのでなかなか練習に顔が出せなかつたことがあり、大会までに充分な練習ができず結果はベストエイト。全力は出せたと思

### 選手達の一言

明徳館高校通信制四年  
団体大将

個人ベストエイト 寺田 望未

個人戦は去年三位という結果を得ることができましたが今年はバ

イトを始めたのでなかなか練習に顔が出せなかつたことがあり、大会までに充分な練習ができず結果はベストエイト。全力は出せたと思

明徳館高校通信制四年

団体中堅 前田 真咲  
個人三位 掛田 彩華

尊敬できる先生方と信頼できる

最高のメンバーで秋田の代表として優勝という結果を残すことができ嬉しいです。

明徳館高校定時制一年

団体先鋒 前田 真咲  
個人優勝 前田 真咲

優勝した瞬間は嬉しさと達成感

でいっぱいでした。今までの練習を頑張つてきてよかつたという思い同時に、これからもっと頑張ろうという気持ちになりました。今回の大会で得た課題を今後の練習に生かして行きたいと思います。

決勝	
秋田県選抜	1-0 東京都選抜A
先鋒	前田 真咲 (明徳館定)
中堅	掛田 彩華 (明徳館定)
個人	寺田 望未 (東京都立川立川)

## 「剣道人口少子化に関する保護者アンケート調査結果」について

委員長 岸野直彦

○はじめに

平成二十一年度に、秋剣連組織の中に「少子化対策委員会」が設置され、から、様々な事業に取り組んできました。主なものとしては、①剣道の活動場所・活動日を紹介する秋剣連ホームページの作成、②剣道募集ポスターの作成と配布、③「草の根」的指導者の功労に対する「幼少年指導奨励賞」の新設、④「幼少年指導者研修会」の開催などです。以上の取り組みについては、各郡市剣道連盟、道場連盟、スポーツ少年団等の指導者に対するアンケート調査結果に基づい実施してきた事業です。

今年度は、「剣道人口少子化に関するアンケート」を、直接に剣道をさせている保護者を対象に実施しました。この調査結果の意見・要望を事業に反映させ、推進していくないと考えています。調査結果の概要について紹介します。

- ・ 調査期日：平成二十三年六月～七月
- ・ 調査対象：平成二十三年度秋田県剣道連盟指導者研修会 及び幼少年リーダー研修会 会参加者

1

お子さんに最も剣道をやらせたいと考えたのは、次の誰ですか。

- ①父親（十二名） ②母親（十一名）
- ③祖父母（三名） ④その他：本人（八名） 親戚等（四名）

2

お子さんに剣道をやらせたきっかけは何でしたか。

- ・ 友達が剣道をやっていたことと、精神的な強さを身に付けさせたいと思ったから。

- ・ かかりつけの小児科医院で、道場のポスターを見て子どもにやらせたいと思ったから。

- ・ 礼儀や挨拶が身につくと思ったから。また、比較的に自宅の近くに子どもも向けの道場があつたから。

- ・ 子どもの学校の友達が剣道をやつていて見学に行つたら、楽しそうだったので自分も剣道を始めたくなつたから。

- ・ 友達が剣道を始めたので、自分の子どもの甘えん坊な心を鍛えたいと思ったから。

- ・ 高校の先輩の子どもが剣道を習っていたので、自分の子どもにも剣道を習わせたかったから。

- ・ 親からやらせたのではなく、子ども本人がやりたいと言つたから。

- ・ 体力・精神力・礼儀作法を身につけさせたいと思つたから。

- ・ 気持ちを強く持ち、勝負に対する執着心を身に付けさせたかったから。

- ・ 多くの先生方から指導いただけること（技術面や人としての関わり方）、剣道を通して先輩や友達が増えて良い交流が持てるること、ま

3

お子さんに剣道をやらせて、最も良かったと感じていることは何ですか。

- ・ 大きい声を出せるようになって、少しづつ精神的に強くなっているように思う。

- ・ 「負けたくない、勝ちたい」という向上心が芽生えてきたように思う。

- ・ 以前より人の話を良く聞くようになったこと。また、気持ちが強くなつたようだ。

- ・ 剣道を通して「礼に始まり、礼に終わる」ことを学んで、しっかりしてきましたと感じています。

- ・ 男女に関係なく仲良くなれたこと、また良い先生と出会えたこと。

- ・ 違う学校に通う子ども達と学年や男女に関係なく仲良くなれたこと、また良い先生と出会えたこと。

- ・ 選手権等で費用が掛かり、金銭面で苦しいこと。

- ・ 防具や稽古着の洗濯が大変なこと。

- ・ 休日の大会が多く、仕事上休みが取れないこと。

- ・ 体力的に練習について行けなくなつて、練習を休むことがある。

- ・ 遠征等で費用が掛かり、金銭面で苦しいこと。

- ・ 防具や稽古着の洗濯が大変なこと。

- ・ 休日の大会が多く、仕事上休みが取れないこと。

- ・ ぜんそくで体が弱かつたが、剣道を始めてから丈夫になつてきたこと。

- ・ 多くの先生方から指導いただけること（技術面や人としての関わり方）、剣道を通して先輩や友達が増えて良い交流が持てるること、ま

4

お子さんに剣道をやらせて、最も困難と感じていることは何ですか。

- ・ 父親が剣道の経験者なので子どもにも剣道をやらせたかったから。

- ・ お子さんが剣道をやっていて、大会を見学に行つたら本人もやりたいと言つたから。

- ・ 一つのこととに真剣に取り組むことができるようになつたこと。

- ・ お子さんと一緒に剣道をやらずに、頑張ることの大切さを知つたこと。

- ・ 悔しい気持ちを体験し、前向きに頑張ることの大切さを知つたこと。

- ・ 親が仕事をしているため、稽古が始まる時間までに送つていけない日があり、休んでしまうこと。

- ・ 取り組みが遅いため、みんなにて行けるか心配なこと。また、

- ・ 集中力が続かないこと。

- ・ 練習に気が乗らないときに、連れ

- ・ 行くのが大変なとき。

- ・ 剣道中心の家庭生活になり、生活が不規則になりがちになったこと。

- ・ 学校生活とのバランスがとれないこと。

- ・ 体力的に練習について行けなくなつて、練習を休むことがある。

- ・ 遠征等で費用が掛かり、金銭面で苦しいこと。

- ・ 防具や稽古着の洗濯が大変なこと。

- ・ 休日の大会が多く、仕事上休みが取れないこと。

- ・ ぜんそくで体が弱かつたが、剣道を始めてから丈夫になつてきたこと。

- ・ 多くの先生方から指導いただけること（技術面や人としての関わり方）、剣道を通して先輩や友達が増えて良い交流が持てるること、ま

- ・ お子さんに剣道をやらせて、最も困難と感じていることは何ですか。

- ・ お子さんが剣道をやらせたいと思つていて、迷つてゐる。（6人）

- ・ 本人の気持ちを尊重してやりたい。（複数）

## 6

- ・子どもが他のスポーツに興味があるため。
- ・これ以上、上達するかどうかわからないから。
- ・剣道人口を増やすためには、何が最も必要だと感じていますか。
- ・道具など費用面で気になる人もいるようなので、初心者には道具の貸し出しをすると始めやすいと思う。
- ・道場があることが口コミでしか伝わらないので、体験会や道場の説明会があればよいと思う。
- ・マスメディアにもっと取り上げてもらう工夫が必要であると思う。
- ・道場の奥深さや楽しさをわかってもらえるよう伝えていく必要があると思う。
- ・防具が臭いというイメージがかなり強いので、清潔感のあるイメージにすること。剣道を知らない親が剣道を知る機会がほとんど無いので身近にふれあえる機会を増やすこと。また、剣道は武道なので厳しいというイメージが強すぎるでの敷居を低くする工夫をすることが必要だと思う。
- ・漫画やテレビのアニメ番組にもつと取り上げられること。
- ・道具を貸し出すなど、もっと気軽にできる雰囲気作りをすること。
- ・身近に感じられ、誰でも始められるスポーツであることをアピールするため、小さい子どもを対象とした体験教室などの機会を設ける必要があると思う。

## 7

- ・剣道を身近に感じてもらうために、イベントなどを企画すると良いと思う。
- ・道具をそろえる費用の助成があれば良いと思う。
- ・剣道の楽しさ、すばらしさをアピールする場が必要だと思う。（幼稚園生～小学生に）。実際の試合の場面などを見せたり、試合場に招待したりすると良いと思う。
- ・道具が高いとよく人に言われます。もう少し安く手に入れば良いと思う。
- ・剣道の試合などをもっとテレビでタレントがたくさんやって見せてくれると良いと思う。
- ・指導者が剣道を楽しく、時には厳しくメリハリを付けながら剣道の良さを伝える必要があると思う。
- ・剣道にあまり関わりの無い人にも、剣道と接する経験やチャンスを作ると効果があると思う。
- ・剣道の指導者の方に、最も要望したいことは何ですか。
- ・優しさと厳しさを兼ね備えた指導をお願いしたい。
- ・家庭や学校で気づかずに入ることを、びしびし鍛えて欲しい。
- ・子どもが自分で強くなりたいと思う前は、子どもの心をつかんで欲しいと思う。（我が道場はできていると思う。）
- ・子どもが楽しみながら剣道を続けていくよう、長い目で続けて行きたいと思っています。
- ・道場の先生は、日頃から我が子の

## 8

- ・勝負に勝つ喜びや剣道のすばらしさをたくさん教えて欲しい。
- ・各団体の体験会のようなものを企画して欲しい。
- ・怒ることも大切ですが、少しでも良いのでその後のフォローをして欲しい。個人にあつた指導の声をお願いしたい。
- ・愛情のある厳しさと、剣道が好きでいられる指導をお願いしたい。
- ・もっと親よりも強い権限を持って指導して欲しいと思う。（優しくだけでなく、時には厳しく。）
- ・心身ともに健康な状態で、子ども達と稽古していただければ充分です。
- ・人間性が吐露された指導者であって欲しい。
- ・りましたらご自由にお書きください。
- ・その他、日頃感じていることがあります。
- ・その他の成長と共に喝を入れてもらえればと思っています。
- ・剣道をやらせて良かったと思ってくれることを期待しています。
- ・剣道をやさせて良かったと思っています。本人が生涯を通じて続けてくれることを期待しています。
- ・道場単位ではなく、体験会等を開催して剣道のすばらしさをもっとアピールして欲しいと思います。
- ・他のスポーツも同じだと思いますが、剣道を通じて毎日充実しています。次の大会のポジション等、自分で目標を立てて頑張っています。
- ・怒ることも大切ですが、少しでも良いのでその後のフォローをして欲しい。個人にあつた指導の声をお願いしたい。
- ・自分のチーム以外の子ども達にも、分け隔てなくいろんな場面で声をかけてくれるので、それが子ども達に大きな励みになっています。
- ・いろいろな行事で、子ども達の付き添いは母親ばかりなので、父親への協力、行事参加をもっと要請して欲しいです。
- ・子どもは剣道が嫌いなのではなく、知らないだけです。宣伝チラシを小学校に配布して3年間で、30人入部した例があります。イベントをバックアップできる組織作りが必要だと思います。
- ・子ども本人のやる気を感じています。これからも前を向いて頑張って欲しいと思っています。
- ・先生方も忙しい中、子ども達のために力を尽くして下さり大変ありがとうございます。これからもたく思っています。これからもよろしくお願い致します。

- ・内面をよくわかつて下さり、やる気になって頑張れるようにいつも指導して下さり、とても感謝しています。
- ・道場単位ではなく、体験会等を開催して剣道のすばらしさをもっとアピールして欲しいと思います。
- ・他のスポーツも同じだと思いますが、剣道を通じて毎日充実しています。次の大会のポジション等、自分で目標を立てて頑張っています。
- ・怒ることも大切ですが、少しでも良いのでその後のフォローをして欲しい。個人にあつた指導の声をお願いしたい。
- ・愛情のある厳しさと、剣道が好きでいられる指導をお願いしたい。
- ・もっと親よりも強い権限を持って指導して欲しいと思う。（優しくだけでなく、時には厳しく。）
- ・心身ともに健康な状態で、子ども達と稽古していただければ充分です。
- ・人間性が吐露された指導者であって欲しい。
- ・りましたらご自由にお書きください。
- ・その他、日頃感じていることがあります。
- ・その他の成長と共に喝を入れてもらえればと思っています。
- ・剣道をやらせて良かったと思ってくれることを期待しています。
- ・剣道をやさせて良かったと思っています。本人が生涯を通じて続けてくれることを期待しています。
- ・道場単位ではなく、体験会等を開催して剣道のすばらしさをもっとアピールして欲しいと思います。
- ・他のスポーツも同じだと思いますが、剣道を通じて毎日充実しています。次の大会のポジション等、自分で目標を立てて頑張っています。
- ・怒ることも大切ですが、少しでも良いのでその後のフォローをして欲しい。個人にあつた指導の声をお願いしたい。
- ・自分のチーム以外の子ども達にも、分け隔てなくいろんな場面で声をかけてくれるので、それが子ども達に大きな励みになっています。
- ・いろいろな行事で、子ども達の付き添いは母親ばかりなので、父親への協力、行事参加をもっと要請して欲しいです。
- ・子どもは剣道が嫌いなのではなく、知らないだけです。宣伝チラシを小学校に配布して3年間で、30人入部した例があります。イベントをバックアップできる組織作りが必要だと思います。
- ・子ども本人のやる気を感じています。これからも前を向いて頑張って欲しいと思っています。
- ・先生方も忙しい中、子ども達のために力を尽くして下さり大変ありがとうございます。これからもたく思っています。これからもよろしくお願い致します。

